

令和 2 年度島根支部保険者機能強化予算

令和2年7月16日 令和2年度第1回評議会



1. 支部保険者機能強化予算について

協会の予算（業務経費等の事務費）は、ジェネリック医薬品の軽減額通知や健診費用の補助等の費用に充てる本部で扱う予算のほか、支部で扱う予算がある。この支部で扱う予算については、以下の3つに大別できる。

- ① 審査医師への謝金や支部事務室賃料など、支部の基本的な業務運営に必要な予算
（基礎的業務関係予算）
- ② 医療費適正化対策や広報・意見発信など、地域の実情等を踏まえた取組みを推進するために必要な予算
（医療費適正化等予算）
- ③ 健診受診勧奨や重症化予防対策など、保健事業における重点的な取組みを推進するために必要な予算
（保健事業予算）

このうち、②及び③の予算については、「**支部保険者機能強化予算**」として、協会の将来的な医療費の節減につなげていくことを目的に、医療費適正化や健康づくり等の保険者機能を強化する取組みを実施する場合に予算計上する経費となる。

2. 令和2年度島根支部保険者機能強化予算の予算枠

	予算区分	分野（経費名）	経費の主な内容	予算枠
（島根支部） 支部保険者機能強化予算	① 支部医療費適正化等予算	医療費適正化対策	<ul style="list-style-type: none"> ● 支部独自の医療費適正化対策としての事業を実施するための経費 	<u>9,381千円</u> （前年比±0）
		広報・意見発信	<ul style="list-style-type: none"> ● 地方自治体や関係団体との連携を強化するための経費 ● 定期的に全事業所、任意継続被保険者宛に送付するチラシ等の印刷及び業務用のリーフレット等の作成に要する経費 	
	② 支部保健事業予算	健診	<ul style="list-style-type: none"> ● 治療中の者の検査結果情報提供料 ● 事業者健診HbA1c 追加検査費 ● 健診予定者名簿送料 ● 健診実施機関実地指導旅費 ● 集団健診 ● 事業者健診の結果データの取得 ● 健診推進経費 ● 健診受診勧奨等経費 	<u>26,755千円</u> （前年比±0）
		保健指導	<ul style="list-style-type: none"> ● 保健指導機関委託費 ● 中間評価時の血液検査費 ● 医師謝金 ● 保健指導事務経費（データ等送料、パンフレット等作成、事務用品、図書等） ● 公民館等における特定保健指導 ● 保健指導推進経費 ● 保健指導利用勧奨経費 ● 保健師募集広告経費（支部） 	
		重症化予防事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 未治療者受診勧奨 ● 重症化予防対策 	
		コラボヘルス事業	<ul style="list-style-type: none"> ● コラボヘルス事業 ● 情報提供ツール（事業所カルテ等） 	
		その他の保健事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 保健事業アドバイザー経費 ● その他の保健事業 	
	【算出基準】協会全体予算8億円を、全支部一律に定額部分600万円を設定した上で、残りを加入者数で按分し加算して算出。（前年同様）			
	【算出基準】協会全体予算40億円を40歳以上の加入者数で按分して算出。（前年同様）			

3. 令和2年度島根支部保険者機能強化予算

① 「支部医療費適正化等予算」について

支部医療費適正化予算	予算枠	経費見込額
	¥9,381,000	¥9,381,000

※赤字は新規事業

1/2

番号	継続 新規	事業計画	事業名	事業概要	主な経費等	経費見込額 (合計)
1	継続	医療費適正化対策	健康保険医療事務 セミナー（浜田）	診療報酬支払基金島根支部を講師として招き、浜田地区の医療機関事務担当者を対象に健康保険事務及びレセプト請求についての制度周知・情報提供を行う。	○参加予定者100人 ○会場費 ○お茶代	¥41,000
2	継続	医療費適正化対策	医療機関への「負傷原因報告書ハガキ」の設置	第三者の行為により負傷した加入者が医療機関へ受診した際、医療機関窓口において当該「負傷原因報告書ハガキ」を受診者へ手渡し協会けんぽへ送付いただくことにより、負傷原因の早期把握と第三者行為届の確実な届出勧奨が可能となるもの。	○はがき製作費 ○目隠しシール製作費	¥25,000
3	継続	広報の推進	納入告知書同封チラシの作成	協会が行う事業、制度改正等の周知及び情報提供	○チラシ製作費	¥891,000
4	新規	広報・意見発信 (医療費適正化対策)	ジェネリック疾患別価格差リーフレットの作成	先発医薬品とジェネリック医薬品との差額を疾患ごとに一覧表にしたリーフレットを調剤薬局の窓口に配置依頼し、ジェネリック医薬品の使用促進を図る。	○リーフレット製作費	¥344,000
5	新規	広報・意見発信 (医療費適正化対策)	ジェネリック医薬品使用促進啓発ポスターの作成	医療機関・薬局・事業所等へのポスター掲示によるジェネリック医薬品の使用促進を図る。	○ポスター製作費	¥144,000
6	新規	広報・意見発信	インセンティブ制度の広報チラシの作成	インセンティブ制度の結果を事業所に周知し、保険料引き下げへの啓発と取り組みを図る。	○チラシ製作費	¥94,000
7	継続	広報・意見発信	ヘルス・マネジメント認定制度の拡大およびインセンティブ広報	島根県内に広く周知するため、新聞広告等を利用して健康経営およびインセンティブ制度の周知・普及促進につなげる。	○広告宣伝費	¥1,650,000
8	継続	広報・意見発信	健康保険情報サイト「へるし〜まね」の運営	既存の内容を更新する。また、サイトの付加価値・利用者の満足度向上のため、島根大学との連携事業の結果を踏まえて、コンテンツをアップデートする。	○サーバーレンタル料 ○アップデート費用	¥713,000

番号	継続 新規	事業計画	事業名	事業概要	主な経費等	経費見込額 (合計)
9	継続	広報・意見発信	web広告を利用したインセンティブ制度広報	インターネットWEBサイトにバナー広告を掲載。バナー広告をクリックすることで協会けんぽのHPIに誘導する。	○「web広告作成」「web広告実施」「効果測定」にかかる業務委託費	¥1,100,000
10	新規	広報・意見発信	健康保険の適正な使用について理解度を高めるためのガイドブックの作成	上手な病院のかかり方等、加入者の行動を支援し、医療費適正化に寄与する情報を伝えるための冊子を作成する。	○冊子製作費	¥3,340,000
11	継続	広報・意見発信 (医療費適正化対策)	デジタルサイネージ（電子看板）を活用した「適正な医療のかかり方」啓発	医療機関の待合室に設置されているデジタルサイネージを活用した、「保険証の適正使用の周知」、「限度額適用認定証の使用促進」及び「ジェネリック医薬品の使用促進」を周知する。設置場所等は平成31年度実績を踏まえ検討する。	○デジタルサイネージへの広告料金	¥810,000
12	新規	広報・意見発信	懸垂幕の掲示（支部入居ビル）	支部が入居する「山陰中央ビル」に、「健診 保健指導」及び「ジェネリック」の周知用懸垂幕を掲示する。	○掲示費用 ○取付及び撤去	¥229,000

4. 令和2年度島根支部保険者機能強化予算

② 「支部保健事業予算」について

1/3

支部保健事業予算	予算枠	経費見込額
	¥26,755,000	¥26,745,000

※赤字は新規事業

番号	継続 新規	事業計画	事業名	事業概要	主な経費等	経費見込額 (合計)
1	継続	集団健診	協会主催の集団健診実施	特定健診対象者に対し受診機会の拡大を図るため支部独自の集団健診を実施する。また、オプション健診の実施などの付加価値を追加することで受診者数の増加を図る。令和元年度から開始した上期集団健診を松江・出雲以外にも拡大して実施する。	○委託費（案内送付郵送料） ○委託費（受取人払郵送料） ○チラシ・申込書作成費 ○返信用封筒作成費 ○会場費	¥5,698,000
2	継続	事業者健診データ取得	事業者健診データ取得勸奨	外部委託業者による同意書取得及び結果票取得の勸奨並びにデータ作成	○委託費（管理費） ○委託費（同意書取得料） ○委託費（結果票取得料） ○委託費（データ作成料） ○委託費（01年度継続分）	¥9,284,000
3	-	健診推進経費に係る実施計画	健診推進経費	生活習慣病予防健診、事業者健診、特定健診の健診推進経費	○生活習慣病予防健診 ○事業者健診 ○特定健診	¥2,553,000
4	継続	健診受診勸奨	支部独自の被扶養者向け健診パンフレットによる広報	被扶養者へ案内している健診の種類は①特定健診、②特定健診セット、③がん検診の3種類があり、現状は①のパンフレット、②③のパンフレットと2種類あるが、これらを集約して一本のパンフレットを作成し広報に使用する。	○パンフレット製作費	¥823,000
5	継続	健診受診勸奨	社長メッセージによる特定健診受診勸奨	被扶養者は被保険者と異なり健診を受けることについて自由度が高い面があり、それが受診率低迷の一因といえる。そのため、被保険者が属する事業所の事業主から受診を促すメッセージを発していたくことで受診率向上を図る。	○封入発送委託費（事業所宛） ○封入発送委託費（対象者宛）	¥123,000
6	新規	健診受診勸奨	労働局と連携した事業者健診結果所得勸奨	労働局と連携して事業者健診結果の提供を働き掛ける。労働局との連名による案内文を作成し、提供方法を記したパンフと同意書をセットにして、同意書の提出がない全事業所に発送する。	○案内文・パンフレット製作費	¥264,000
7	新規	事業者健診データ取得	地域医療情報ネットワークを利用した事業者健診データ取得事業	島根県、出雲医師会が中心となり構築・運営している「しまね医療情報ネットワーク（まめネット）」と連携することにより、事業者健診データを事業所を介することなく取得する。	○事務手数料 ○同意取得料	¥495,000

番号	継続 新規	事業計画	事業名	事業概要	主な経費等	経費見込額 (合計)
8	新規	健診受診勧奨	令和元年度生活習慣病予防健診未受診者に対する直接勧奨	生活習慣病予防健診申込書が廃止されたことに伴い、健診受診に事業所が関わる必要がなくなった。小規模事業所を中心に、健診を放置している事業所は相当数存在すると考えられるため、令和元年度の未受診者（生慣・事業者）に直接案内し、健診閑散期の4・5月に誘導する。 ※健診推進費を活用して、健診機関から勧奨することも検討	○チラシ製作費	¥297,000
9	継続	健診	健診実施機関実地指導旅費	健診・保健指導実施期間に対する実地指導および打ち合わせに要する経費	○旅費	¥95,000
10	新規	保健指導利用勧奨	集合契約締結機関と連携した、特定保健指導（集団・個別）利用勧奨	集合契約を締結している保健指導実施機関から、特定保健指導に併せて魅力のあるオプション（健康づくり全般）を提供できる事業者を募り、保健指導を実施する。	○委託費（案内文書郵送費） ○委託費（案内文書作成費） ○委託費用（オプション経費）	¥1,340,000
11	継続	未治療者受診勧奨	勧奨対象者に対する受診勧奨業務委託	勧奨対象者に対して、文書を発し、その後電話連絡することで受診に結び付ける。	○委託費（文書作成） ○委託費（電話勧奨）	¥960,000
12	継続	保健指導事務経費	保健指導用図書購入	保健指導の際に活用する説明用パンフレット	○図書購入費	¥55,000
13	継続	保健指導事務経費	公民館等における特定保健指導	協会保健師等により実施する公民館等での特定保健指導の会場賃借料	○会場費	¥5,000
14	継続	保健指導事務経費	中間評価時の血液検査費	保健指導実施時の中間評価時の血液検査	○血液検査費	¥33,000
15	継続	保健指導事務経費	医師謝金	保健指導に関して医学的な意見・助言を行う医師に対して支払う報酬	○謝金	¥26,000
16	継続	重症化予防	糖尿病性腎症患者の重症化予防対策	重症化予防プログラムの参加勧奨及び保健指導を業務委託により実施する。	○プログラム参加勧奨（文書） ○保健指導経費	¥1,710,000

番号	継続 新規	事業計画	事業名	事業概要	主な経費等	経費見込額 (合計)
17	継続	コラボヘルス事業	委託業者等による健康づくり出前講座	健康宣言された事業所を対象とした、委託業者等による職場の健康づくり出前講座の実施。歯周病に関する出前講座の際には歯周病簡易検査キットを用いて実施する。	○外部講師委託費 ○交通費 ○歯周病検査キット	¥738,000
18	継続	コラボヘルス事業	健康測定機器レンタル	ヘルス・マネジメント認定制度、健康宣言事業所及び認定事業所を対象に血管年齢測定器・肺年齢測定器・体組成計・血圧計のレンタルを行い、事業所の健康づくりを支援する。令和2年度は血管年齢測定器を増大する。	○消耗品費備品（マウスピース） ○血管年齢測定器（キャリングケース込）	¥603,000
19	新規	コラボヘルス事業	健康測定機器レンタルの発送業務外部委託	ヘルス・マネジメント認定制度、健康宣言事業所及び認定事業所を対象に行っている血管年齢測定器・肺年齢測定器・体組成計・血圧計の発送業務を外部委託する	○委託手数料（月定額） ○委託送料	¥842,000
20	新規	コラボヘルス事業	各種施設等利用優待券の発行	ヘルス・マネジメント認定制度、健康宣言事業所及び認定事業所を対象に連携協力機関等の健康促進を図る施設を利用できる優待券を発行し、加入者の健康づくりを促進する。	○優待券作成費	¥216,000
21	継続	その他保健事業	ウォーキングおよび健康測定イベント	国保連、健康保険組合等と共催し県内3会場でウォーキング・健康測定会を実施	○大会開催の委託費用一式 ○会場費用 ○チラシ作成	¥585,000